



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名 株式会社 ニチイ学館

上場取引所 東

コード番号 9792 URL <http://www.nichiigakkan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 正俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理・財務本部長 (氏名) 寺田 孝一

TEL 03-3291-2121

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	65,644	7.4	1,863	△16.3	1,673	△26.5	613	△40.9
24年3月期第1四半期	61,132	2.8	2,225	29.3	2,277	24.2	1,038	98.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 492百万円 (△54.6%) 24年3月期第1四半期 1,084百万円 (131.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	8.83	—
24年3月期第1四半期	15.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	158,051	57,374	36.1
24年3月期	157,816	57,442	36.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 57,097百万円 24年3月期 57,166百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	134,300	8.9	4,000	△18.4	3,600	△25.9	1,600	△27.6	23.04
通期	274,000	6.5	11,400	△2.3	11,000	△13.2	5,800	△1.6	83.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	73,017,952 株	24年3月期	73,017,952 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	3,574,541 株	24年3月期	3,574,673 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	69,443,261 株	24年3月期1Q	69,061,526 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

ニチイグループを取り巻く社会保障分野の動向は、持続可能な社会保障制度への再構築と財政健全化の両立を目指した「社会保障と税の一体改革」が進められており、平成24年4月の介護保険制度改正、診療・介護報酬の同時改定や、平成24年6月の消費税率の段階的引き上げを含めた「税と社会保障の一体改革関連法案」の衆議院本会議可決等、関連する諸法諸制度の整備が本格化しております。

少子高齢化やグローバル化への対応を目指す政府の成長戦略『日本再生戦略』では、医療、介護、健康分野において、規制緩和等の実施により、新たな市場の創出と幅広い世代の雇用拡大を目指した成長戦略案が示されております。

このような環境の中、ニチイグループでは、激変する環境変化に対応し、長期利益の安定成長を実現するため、平成24年4月より中期経営戦略をスタートしており、各事業において、成長性、安定性、収益性の向上を図るべく、事業領域の拡大と事業基盤の強化を推進しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、事業領域の拡大として、医療関連事業における国際医療交流支援サービスの展開準備や、ヘルスケア事業における介護保険制度外サービスの拡充、教育事業における語学事業の展開強化に努めてまいりました。中でも、語学事業は、教育事業の安定成長の実現に加え、医療機関の国際化への対応、保育事業における幼児向け英会話展開等、ニチイグループの戦略上、必要不可欠な事業であることから、平成24年4月より新ブランド『COCO塾』を立ち上げ、全国各エリアにおける積極的なスクール展開や、TVCM・交通広告等のプロモーションを実施する等、全国規模での語学事業基盤の整備を推し進めてまいりました。

事業基盤の強化といたしましては、介護拠点の積極展開等の既存事業の展開強化と併せ、営業体制やヘルスケア事業部門の推進体制等を改編したほか、人材派遣サービスに係るグループ再編に着手する等、戦略実行に最適な組織体制の構築に取り組んでまいりました。

経営成績につきましては、医療関連事業、ヘルスケア事業ではサービス利用者数の増加や業務効率の更なる向上等により、前年同期と比べ、増収増益となりました。教育事業では、株式会社GABA（以下GABA）が引き続き好調に推移したものの、既存講座の受講生数の減少や、『COCO塾』の戦略投資費用の発生により、増収減益となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は65,644百万円（前年同期は61,132百万円）、営業利益は1,863百万円（前年同期は2,225百万円）、経常利益は1,673百万円（前年同期は2,277百万円）、四半期純利益は613百万円（前年同期は1,038百万円）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりです。

#### <医療関連部門>

医療関連部門につきましては、5ヵ年計画で実施しております契約適正化戦略が最終年度を迎え、引き続き1医療機関の業務範囲拡大を図るとともに、民間病院を中心とした新規契約の獲得についても推進してまいりました。契約適正化戦略における人材基盤の強化では、スタッフへの継続的な処遇改善を実施しており、定着率・スキルの向上、業務効率の向上、顧客満足度の向上へと続く好循環サイクルにより、増益基調が続いております。

経営支援サービスの拡充では、医療・介護の更なる連携強化に向けた支援の推進や、国際医療交流支援サービスの展開準備等、医療機関の経営を総合的に支援すべく、グループ間、事業間シナジーの追求による事業領域の拡大に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は25,870百万円（前年同期は25,694百万円）、営業利益は2,086百万円（前年同期は1,962百万円）となりました。

#### <ヘルスケア部門>

ヘルスケア部門につきましては、介護サービス拠点網の更なる拡大や、既存拠点稼働率の向上に向けた取り組み等により、在宅系サービス・居住系サービス共に利用者数が順調に増加し、介護保険外サービスにおいても、障がい福祉サービスの利用者数が引き続き好調に推移する等、安定した成長基調を辿っております。

平成24年4月に実施された介護報酬改定の影響につきましては、効率的な事業所運営の推進により限定的となり、医療・介護の更なる連携強化が図られる中で、訪問看護サービスの展開強化を図ることで、利用者ニーズに合わせたトータル介護サービスの拡充に努めてまいりました。

中国における事業展開では、平成24年4月に福祉用具の卸販売事業等を展開する株式会社ニチイケアネットの子会社「日医福利器具貿易（上海）有限公司」が豊田通商株式会社と資本提携に関する基本合意を交わしており、今後も中国における福祉用具卸販売サービスの付加価値を高め、事業基盤強化に向けた取り組みを行ってまいります。

当第1四半期連結累計期間における拠点開設状況は、在宅系介護サービスでは、居宅介護支援事業所を9ヵ所

(全746カ所)、訪問介護事業所を13カ所(全1,075カ所※訪問入浴介護事業所含む)、通所介護事業所を5カ所(全331カ所)、訪問看護事業所を16カ所(全39カ所)開設いたしました。居住系介護サービスでは、グループホーム「ニチイのほほえみ」を1カ所(全242カ所)、有料老人ホーム「ニチイのきらめき」を4カ所(全47カ所)開設いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は34,599百万円(前年同期は32,329百万円)、営業利益は2,638百万円(前年同期は2,090百万円)となりました。

#### <教育部門>

教育部門につきましては、雇用環境の緩やかな改善により、資格ニーズの低下が続いており、主力講座である「ホームヘルパー2級講座」「医療事務講座」の受講生数は減少となりました。

今後の成長が期待される語学事業では、多様化する語学ニーズへの対応とグループ力の最大化を図るべく、新ブランド『COCO塾』の積極展開を推し進めており、インストラクターを2名配置する2インストラクター制を柱としたビジネスマン向けグループレッスンや、医療スタッフ向け英会話等、当社独自のカリキュラムの提供に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、全国各エリアに語学スクールを29校オープンしており、平成24年6月からは、TVCM・交通広告等の広告展開や、無料体験レッスンの実施等、認知度向上を目指した本格的なプロモーション活動をスタートし、受講生を獲得するため、戦略投資を実施いたしました。

GABAにつきましては、受講生数の増加等により、引き続き堅調に推移しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,083百万円(前年同期は3,026百万円)、営業損失は827百万円(前年同期は営業利益309百万円)となりました。

#### <その他>

その他の部門につきましては、千葉県茂原市の「レイクウッズガーデンひめはるの里」を拠点として、当社セラピー犬の認知度向上や普及促進に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は91百万円(前年同期は82百万円)、営業利益は33百万円(前年同期は営業損失144百万円)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の総資産は、前連結会計年度末に比べ235百万円増加し、158,051百万円となりました。主な要因は、現金及び預金などの減少により流動資産が2,744百万円減少し、有形固定資産の増加などにより固定資産が2,980百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ303百万円増加し、100,677百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少などにより流動負債が231百万円減少し、リース債務の増加などにより固定負債が534百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ67百万円減少し、57,374百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月15日に発表した連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

従来、当社グループ（当社及び連結子会社）は、有形固定資産の減価償却方法について主として定率法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

この変更は、当社グループの今後更なるグローバルな事業展開の進展に鑑み、グループの会計方針の統一と期間損益の適正化の観点から有形固定資産の投資効果を改めて検討した結果、定額法を採用した方が使用実態とより整合した費用配分を行えると判断したことによるものであります。

これにより、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ90百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,699,654	6,683,374
受取手形及び売掛金	31,802,791	31,802,367
有価証券	1,599,880	1,599,658
商品及び製品	599,236	663,226
仕掛品	5,810	44,072
原材料及び貯蔵品	333,724	312,218
その他	11,099,077	10,340,777
貸倒引当金	△38,293	△88,693
流動資産合計	54,101,880	51,357,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,996,379	27,388,061
リース資産(純額)	15,540,953	17,305,131
その他(純額)	9,632,708	10,508,417
有形固定資産合計	52,170,041	55,201,609
無形固定資産		
のれん	21,918,063	21,406,825
その他	4,900,437	4,657,610
無形固定資産合計	26,818,501	26,064,436
投資その他の資産		
その他	25,733,630	26,427,670
貸倒引当金	△1,007,711	△998,802
投資その他の資産合計	24,725,918	25,428,868
固定資産合計	103,714,460	106,694,914
資産合計	157,816,341	158,051,917
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	957,132	1,023,568
短期借入金	193,091	2,932,049
未払法人税等	3,274,561	488,506
未払費用	16,178,955	16,851,217
賞与引当金	4,775,256	2,548,185
役員賞与引当金	36,500	22,000
その他の引当金	42,345	37,877
その他	23,451,659	24,775,008
流動負債合計	48,909,502	48,678,413
固定負債		
長期借入金	24,990,175	23,703,198
リース債務	15,833,977	17,570,484
退職給付引当金	4,719,843	4,810,183
役員退職慰労引当金	162,923	161,774
資産除去債務	1,542,245	1,579,453
その他	4,215,370	4,173,963
固定負債合計	51,464,536	51,999,057
負債合計	100,374,038	100,677,470

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,933,790	11,933,790
資本剰余金	17,354,214	17,354,214
利益剰余金	34,057,020	34,114,542
自己株式	△6,133,715	△6,133,364
株主資本合計	57,211,311	57,269,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△45,042	△146,981
為替換算調整勘定	—	△24,871
その他の包括利益累計額合計	△45,042	△171,853
少数株主持分	276,034	277,117
純資産合計	57,442,302	57,374,447
負債純資産合計	157,816,341	158,051,917

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	61,132,509	65,644,980
売上原価	48,660,507	51,787,727
売上総利益	12,472,002	13,857,252
販売費及び一般管理費	10,246,307	11,994,164
営業利益	2,225,694	1,863,088
営業外収益		
受取利息	32,389	30,868
受取貸貸収入	58,495	52,385
雇用創出事業受託料	36,552	71,751
補助金収入	79,256	60,987
その他	66,546	70,264
営業外収益合計	273,240	286,259
営業外費用		
支払利息	196,874	398,384
貸貸費用	14,152	12,582
その他	10,797	64,970
営業外費用合計	221,824	475,937
経常利益	2,277,110	1,673,410
特別損失		
固定資産除却損	3,640	3,225
固定資産売却損	—	555
投資有価証券評価損	—	199,980
災害による損失	39,649	—
その他	—	67,820
特別損失合計	43,289	271,581
税金等調整前四半期純利益	2,233,821	1,401,828
法人税、住民税及び事業税	98,156	341,040
法人税等調整額	1,091,219	441,858
法人税等合計	1,189,376	782,898
少数株主損益調整前四半期純利益	1,044,445	618,929
少数株主利益	5,983	5,583
四半期純利益	1,038,462	613,346

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,044,445	618,929
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	39,959	△101,938
為替換算調整勘定	—	△24,871
その他の包括利益合計	39,959	△126,810
四半期包括利益	1,084,405	492,119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,078,421	486,535
少数株主に係る四半期包括利益	5,983	5,583

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。